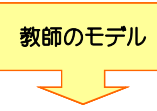






# 例② 中丹つないでシート：小学校外国語活動を生かした小・中接続指導計画（入門期）

作成：（ 中規模校 ← 2小学校から入学 ）

単元目標	小学校				春休みを効果的に活用する連携の在り方、児童への具体的支援等	中学校(入門期：Unit 1 に入る前)							
	第1時	第2時	第3時	第4時		第1時	第2時	第3時	第4時				
単元目標	自分の将来の夢について、理由を含めて紹介したり、友だちの夢を聞き取ったりする。				<div style="text-align: center;">  <p>教師のモデル</p>  <p>練習</p>  <p>使う</p>  <p>評価</p> </div>	英語でのあいさつや自己紹介をして、お互いのことを知る。		お互いに英語で質問しあい、相手について知ろうとする。		小学校で親しんだクラスルームイングリッシュを実際の活動で用いる。		音声と文字を結び付け、書くことができる。(アルファベット)	
本時の目標	様々な職業の言い方に興味をもち、職業の言い方に親しむ。					教師のねらい：生徒の英語を書くこと							
導入	アルファベットカードゲーム(大文字)	アルファベットカードゲーム(小文字)	聞こえたアルファベットを線で結ぶ(P.6)	大文字と小文字を線で結ぶ(P.13)		○教師の自己紹介を聞く。 ○内容に関するQ&A活動をする。 <b>教師がモデル</b>	○教師による質問文の提示。練習。 <b>教師がモデル</b>	○体調を尋ねたり答えるときの表現。 ○教師とのDialog練習。	○音声と文字を結びつける。(アルファベット迷路、ビンゴなど) <b>英語ノートの</b>				
展開	Let's Listen CDでどの人の自己紹介かを聞き分けよう(5人) 職業をジェスチャーで導入する 職業カードゲームをする	職業をクイズ形式で紹介する water, a house and a big red truck → ( ) Let's play ビンゴ・ゲーム(巻末の職業カードを使って行う) Let's Listen CDで3人の夢を聞く(内容を日本語で吹き出しに書く)	Let's play ビンゴ・ゲーム(巻末の職業カードを使って行う) Activity 同じ夢をもっている友だちを探そう(インタビュー)	Activity2 友だちのスピーチを聞いて、夢、理由を聞き取ろう Activity1 スピーチ・メモを作成してそれをもとに発表の準備をする		1. 自己紹介や相手のことを尋ねる表現を練習する。 2. 自己紹介をする。(ペア、グループ、座席移動式、スピーチ方式など)  ペアやグループでの学習を通して、英語学習の基盤である「ともに学ぶ」楽しさと規律を身に付けさせる。入	1. Do you～?などのYes/NoクエスチョンやWhat do you want to do this year?hなどの質問について活動させる。 2. インタビュー活動でワークシートにまとめる。	1. クラスルームイングリッシュを用いた活動。(音声での確認をしたあと、ペア、グループ、グループ代表を活用した様々な形態で活動する。)	1. アルファベットを発音しながら書く。 2. ヘボン式ローマ字の単語を読んだり、書いたりする。(訓令式との違いの確認) <b>★音声から文字への円滑な移行を工夫する。 ★慣れ親しんだ単語の読みを通して、文字と音声の関連に気付かせる。</b>				
まとめ	1 自分が興味をもった職業は何か。(理由を付けて)またその言い方がわかったか。 2 次時の指導に生かす	1 同世代の子どもの夢を聞き自分と比べて気付いたことをまとめる。 2 CDの会話を聞いて、どんな英語でどのような内容が推測できたか。	1 インタビューをして気付いたことについて、次の型に添ってまとめる。 私は( )人の人にインタビューしました。自分の夢と話した人は( )いて、( )ました。友だちの夢を聞き合って印象に残った点は、( )点でした。1点目は、…です。2点目は、…です。	1 自分の夢を紹介して感じたことを何か。 2 友だちの発表でよかった点はどこか。		○自分のことを英語で表現できたか。 ○友だちの自己紹介の内容が理解できたか。 ○友だちの自己紹介を聞いて、新しく知った内容や発表の仕方よかった点をまとめる。 <b>振り返りシートに記入する。(アンケート形式)</b>	○ペアやグループでの活動に積極的に取り組めたか。その活動の中でお互いのことを知り合えたか。 <b>振り返りシートは、状況に応じた対応が英語でできるかを見る確認</b>	○授業で使う表現を知り、 <b>場面や状況に合わせて</b> 使うことができたか。	○略語やアルファベットを用いた語を、新聞や広告から探して書く。				
評価規準	自分が興味を持った職業の言い方に慣れ親しんでいる。③	世界の子どもたちも自分たちと同じように将来に夢を描いていること気付いている。①	将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりしている。③	スピーチ・メモをもとに、理由を含めて自分の夢を紹介しようとする。②		相手に伝えようとしている。① 自分のことを表現する言い方に慣れ親しんでいる。①②	相手に伝えようとしている。① 質問文を理解し、質問をしたり答えたりしている。②	積極的に活動に取り組んでいる。① いろいろな状況や場面を想定して活動している。②	アルファベットの文字の読み方が分かる。④				
評価の観点	①言語や文化の体験的な理解 ②コミュニケーションを図ろうとする態度 ③音声や表現への慣れ親しみ					観点	①関心・意欲・態度 ②表現の能力 ③理解の能力 ④言語や文化の知識・理解						
主な言葉、表現	teacher, doctor, driver, singer, nurse, player, cook, fire fighter, astronaut, farmer, police officer, pilot, scientist, engineerなど What do you want to be? I want to be～. I like～.					語彙	My name is ～. I like ～.	Do you like ～? What do you want to ～?	I have a cold. What's the matter?				
小・中連携の視点で指導上大切にすること						小・中連携の視点で指導上大切にすること	小学校で慣れ親しんだ楽しい活動を中学校の授業でも場面設定をして与え、活動させる。音声による指導から、発音と綴りの関係の指導への流れに注意する。						
キーワード(連携を考えるときのキーワードです。焦点化するキーワードに色をつけましょう。)	音声や基本的な表現に慣れ親しむ	言語を用いてコミュニケーションを図ること	言葉の面白さや豊かさに気付く	コミュニケーション能力		不安を取り除く	楽しい活動	リラックスした雰囲気	ともに学ぶ(ペア、グループ等学びの基盤づくり)				
	言語や文化について体験	コミュニケーションを図ろうとする態度の育成	異なる文化をもつ人々との交流	多様なものの見方や考え方があることに気付く	抵抗感を減らす	音声による指導	発音と綴りの関係の指導	英語がすき					
	コミュニケーションを図る	日本語との違いを知る	国語や我が国の文化についても併せて理解す		期待を持たせる	学習姿勢の構築(約束事)	家庭学習の習慣付け						
話し合いの中で気付いたこと													